

表彰式で記念撮影する受賞者ら＝15日、長生村



大切な人に手紙したため

長生 芥川恋文大賞、15人表彰

大切な人につづった手紙を募集するコンテスト「芥川龍之介恋文大賞」(千葉日報社など後援)の表彰式が15日、長生村の社会福祉法人「愛の友協会」(日谷文雄理事長)で開かれた。全国から寄せられた433通の中から11～85歳(応募当時)の男女15人が入賞し、東京都の会社員、丁字煙さん(26)が大賞に輝いた。

同コンテストは、青年期の芥川が長生村に隣接する一宮町の宿、一宮館に滞在し、後に妻になる女性に恋文を書いたことにちなみ、恋人、家族、友人、恩師ら大切な人へのメッセージをつづった手紙を募集している。同法人が主催し、今年で12回目を迎えた。

受賞者は、芥川が滞在した同町の「芥川荘」(国登録有形文化財)を見学し、表彰式に参加。式では入賞作品が朗読され、心を込めて紡がれた言葉に約50人の来場者は感極まった様子で聞き入った。

選考委員長を務めた芥川の孫、芥川耿子さんは「一人一人、本当に心を込めて書いているのがとても良く分かった」と話した。受賞者は次の通り。(敬称略)

大賞 丁字煙▽一宮館主賞 山田和彦▽一宮町長賞 及川なみき▽長生村長賞 沖悦子▽一宮町社会福祉協議会長賞 間瀬友瑛▽長生村社会福祉協議会長賞 増田浩二▽茂原市社会福祉協議会長賞 矢野実紀▽千葉日報社長賞 ひろみ▽千葉薬品社長賞 今井晴夫▽千葉銀行一宮支店長賞 篠田沙織▽愛の友協会後援会長賞 彩来美雨▽みらい賞 松田奈保子、及川守▽愛の友協会特別賞 森鈴花▽愛の友協会理事長賞 内山結々花